

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	南信州広域連合消防参画事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)	
部等名	危機管理部	課等名	防災交通課		包含する細々目	1	9	1	1	12	1		
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり												
施策	41 災害対策の推進												
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	事業期間		年度～	年度	関連計画条列等			

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	南信州広域連合	管轄人口(1月現在)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	広域消防運営費負担	飯田市人口 ÷ 連合人口	18目標	最終目標		
			18実績	19目標		↑ 最終目標達成年度
		23目標	23実績		↑ 最終目標達成年度	
		18目標	最終目標			
		18実績	19目標		↑ 最終目標達成年度	
		23目標	23実績		↑ 最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	市町村が行う消防業務を、南信州広域連合(15市町村)で共同して行い、飯田広域消防の人員費、運営費を市町村は負担金で拠出している。	南信州広域連合飯田広域消防本部へ運営費を負担する		
	18年度の実績			
	19年度計画	南信州広域連合飯田広域消防本部へ運営費を負担する		

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	964,669	965,000
事業費計(A)	964,669	965,000	
人件費	正規職員所要時間	18年度	19年度
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	0	0
	トータルコストA+B	964,669	965,000

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	災害や火災の被害を軽減する	市民が災害にそなえている割合・%	現状値		19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	
		火災発生件数・件	現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ 市町村単独では消防事務を十分果たしきれないことから、広域化することでより充実した消防体制が築ける。	事業を取り巻く状況の変化 消防組織法の改正が行われ、「市町村の消防の広域化は、消防の体制の整備及び確立を図ることを旨として行わなければならない。」とし、基本指針として「自主的な市町村の広域化の推進」が定められた。	事業に対する市民や議会の意見
--	---	----------------

### 【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？ (評価) 結びつく (その理由) 火災による被害の軽減、救急救助による人命の確保等により安全が守られ、安心した暮らしができる。	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？ (評価) 余地がある (その理由) 最新機械器具の装備
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) 災害対象は市民、財産である。		廃止・休止した場合の影響はありますか？ (評価) 影響あり (その理由) 安心、安全が確保されない
	意図の見直しの必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) 消防の目的は変わらない		他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 統合不可能 (類似事業名、理由) 非常備消防の消防団とは、同じ目的を持つが活動手段が異なるため統合は不可能
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか) (評価) 必要ある (その理由) 消防業務は、市町村に果たすべき責任がある。		他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 不可能 (その理由) 現在の技術水準では不可能。マンパワーに頼る消防から脱却できる社会環境が構築されなければ不可能
		効率性 評価	成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？ (評価) 不可能 (その理由) 現在の技術水準では不可能。マンパワーに頼る消防から脱却できる社会環境が構築されなければ不可能
		公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？ (評価) 妥当である (受益者とその理由) 市民

### 【Plan】改革改善

<b>今後の事業の方向性</b> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 実施年度 <input type="text"/> 具体化	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

#### 【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

#### 【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	